

令和7年度
めざす学校像



森の里小学校

学校だより 令和7年10月30日 No.14 文責 菅沼真弓

「学ぶ喜びと活力あふれる森の里小学校」

森の風

めざす子どもの姿

あいさつ
いじめ×
うんどう大好き
えがおになる言葉
おれいの言葉
かいわとがくしゅう大事
きまりを守る

あいさつ
いじめ×
うんどう大好き
えがおになる言葉
おれいの言葉
かいわとがくしゅう大事
きまりを守る

前期学校評価アンケートの結果についてII

前号で記載いたしました結果をもとに、成果や課題を分析いたしました。そして、この後期、学校として取り組むことを教職員で確認しております。子ども達の安心安全、そして学習を支える教育活動をさらに前進させていきたいと思っておりますので、後期もどうぞよろしくお願いいたします。

1 成 果

*数値は肯定評価のパーセンテージ

(1) 児童と保護者が一致して信頼し、向上を目指す先生方の姿がある「学習面」

- ・授業がよくわかり、勉強が楽しい : 児童～93.9% (平均)
- ・学習のきまりの定着、基礎学力向上 : 保護者～93.5% 教職員～100%
- ・主体的な学び : 児童～93.3% 保護者～94.4% 教職員～95.7%

(2) 教科担任制による教育の質と専門性の向上

- ・専科授業は楽しい、わかりやすい : 児童～97.7%
- ・教科担任制による学力向上 : 教職員～95.5%
- ・教科担任授業への積極的参加 : 教職員～90.5%
- ・授業改善への取組 : 教職員～90.5%

前号にてこの結果の提示は
しておりませんでした

(3) 規範意識の醸成と実践力の向上

- ・ルールの提供、家庭の指導 : 保護者～86.9% 教職員～91.3%
- ・きまりを守る : 児童～98.5%

(4) 開かれた学校への認知向上

- ・保護者や地域への情報提供 : 保護者～94.4% 教職員～95.7%

2 課 題 三者（児童、保護者、教職員）で意識のズレが見られる点

(1) いじめの未然防止や対応

保護者～77.6% 児童～98.6% 教職員～100%

三者で認識に「ねじれ」ある。児童・教職員は対策の実効性に100%近い肯定を示す一方、保護者の不安（77.6%）が最も深刻。教職員は「やっている」と確信しているが、その過程や透明性が保護者に届いていないことが明らかとなっている。

(2) 読書指導、読書勧奨

保護者～64.5% 児童～76.3% 教職員～100%

保護者・児童が低評価、教職員が自己評価100%の最重要構造的課題。教職員は「指導・奨励はしている」が、子どもや家庭には「実効性がない」と評価されている。指導方法・内容の抜本的な見直しが必要である。



3 総合分析

(1) 継続して信頼を獲得している、学校運営の安定した基盤である項目。

- ① 学習のきまり、基礎学力向上 (R7: 93.5%) : R6 で一度落ち込むも、R7 で高水準に回復。学習面への信頼は厚いと考える。
 - ② 主体的に学ぶ力 (R7: 94.4%) : 同様に R6 で落ち込むも、R7 で最高水準に回復。教育の柱として明確に評価されている。
 - ③ 保護者・地域への情報提供 (R7: 94.4%) : R6 の落ち込みからの回復度が高く、学校の透明性とコミュニケーションが優れていると考える。
- (2) 「学習のきまりの徹底」により、保護者の信頼を回復し (+7.8pt)、教職員の指導への自信を極めて高める (+47.8pt) という、外部・内部双方で最高の成果を上げている。
- (3) 教科担任制の充実は、「教員自身の専門性の向上 (授業改善 90.5%)」と「子どもの学力への貢献 (95.5%)」という、施策の核となる目標を達成しています。これは、「質の高い教育の提供」という面では大きな成果であると考えます。
- (4) 信頼回復の最優先事項
- ① **【いじめ未然防止】** : 教職員・児童の「やっている」という高い認識と、保護者の不安 (22.4%が否定) との間に**深いギャップ**があります。「対応の透明性」を重視した保護者向けの具体的な情報公開や、学校の姿勢を示す機会を設ける必要があります。
 - ② **【読書指導】** : 教職員が 100%肯定しているにもかかわらず、**保護者・児童の肯定率が最低**です。これは「取り組みの実行」と「成果の連動」が最も乖離していることを示しており、学年が上がる児童をターゲットにした指導方法の再設計が必須です。



4 後期に向けて

- (1) めざす子ども像「あいうえおかき」のさらなる徹底。
- (2) 学習のきまりのさらなる意識化と学習の充実を継続する。
- (3) いじめの未然防止及びいじめへの取組を保護者に“見える化”すること
 - ① 学校だよりで学校の取組や、いじめに関連する道徳の授業を紹介したりする。
- (4) 読書指導のさらなる充実
 - ① 読書時間の確保のために、日課表の見直しを検討する。
 - ② 図書委員会の活動を紹介したり、授業充実をさらにすすめたりする。
- (5) 来年度の全校参観日について



今回のアンケートを参考に実施を検討していきたいと思います。参観日の予定が決まりましたら、3 学期の早いうちからお知らせするよう調整いたします。

1 2 月の行事予定表

1 日 (月)	給食費引き落とし日 学年費現金集金 (～12/3)
2 日 (火)	参観日 (G, 1, 2 年)
4 日 (木)	参観日 (5, 6 年)
5 日 (金)	参観日 (3, 4 年) 学年費、PTA 会費引き落とし日
8 日 (月)	2 年生市民学
9 日 (火)	3 年生市民学 会議のため全校 5 時間授業

生活目標 あとかたづけ・
せいりせいとんをしよう
安全目標 安全に気をつけて生活しよう
保健目標 かぜを予防しよう

1 0 日 (水)	4 年生市民学
1 2 日 (金)	児童会 図書ボラ読み聞かせ
1 6 日 (火)	クラブ
2 2 日 (月)	大掃除 全校 5 時間授業
2 3 日 (火)	2 学期終業式 全校 5 時間授業
2 4 日 (水)	冬休み (～1/8)